

# かごしま環境未来館（テーマ：「環境」）での 「市長とふれあいトーク」発言に対する検討結果等

## 〔開催概要〕

日時：平成20年10月10日（金） 14：00～15：00

場所：かごしま環境未来館

※ 平成20年度のグループ申込型の4回目として開催（環境）

平成20年11月  
鹿児島市 市民参画推進課

# 「市長とふれあいトーク」(環境)発言に対する処理方針

日時：平成20年10月10日(金) 14:00~15:00  
場所：かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	特定非営利活動法人「地球環境フォーラム」 男性	<p>かごしま環境未来館は環境に配慮されており、ディスプレイなども思い切ったものになっていて、じっくり時間をかけて見学すると環境問題がよくわかる展示などがなされていると思う。私たちグループでも是非積極的に活用させていただきたい。</p> <p>環境に取り組むまちへの人々の関心は高くなっており、環境活動に取り組む市民がたくさんいると都市の魅力になるので、「環境に取り組むまち」鹿児島を観光面にも活かしていってほしい。</p>	<p>近年、政府をはじめ、どの自治体も環境にとりくむ事業を進めており、これは環境の悪化が将来にわたる生活の基盤を崩壊させるのではという危機感のあらわれでもあります。</p> <p>本市は「環境リーディングシティかごしま」を標榜し、その取り組みの一環として、この環境未来館や市電軌道敷緑化などを進めています。市民の皆さん一人ひとりが自ら行動し、市の取り組みにご協力をいただきながら、環境に取り組むまち、環境の美しいまちとして交流人口の増につなげ、結果として観光にも活かしていければと考えています。</p>	環境局 経済局	<p>環境未来館は、市民や事業者の皆さんが環境問題に関心を持ち、意識して、実践に結びつけていくための機能を備えた施設であるとともに、住民団体相互の情報交換や活動の場でもありますので、こういった場を通して、意見を主張しあったり、考え方を共有したり、理解し合ったりできるようにしてまいりたいと考えております。</p> <p>また現在、本市におきましては、平成17年度に策定した観光未来戦略において、重点戦略の一つとして「美しく潤いのある快適な鹿児島づくりの推進」を掲げ、観光地清掃を実施するなど、官民一体となって、魅力ある観光地づくりに取り組んでいるところであり、今後とも、市民の方々や関係部局と連携を図りながら環境への取り組みを観光面にも活かしてまいりたいと考えております。</p>
2	環境パートナーシップかごしま 男性	<p>私たち通称「エコパかごしま」では、鹿児島県の環境を良くしたい、よい環境を子ども達に残したいという思いで活動している。現在7つのワーキンググループがそれぞれのテーマで活動し、会社、市民グループ、市職員などいろいろな立場の方が参加している。</p> <p>環境都市宣言は社会全体で環境を良くする方向へ移行するきっかけとして重要であり、この環境未来館も環境グループの拠点としてぜひ利用したいし、また市民からの提言を取り入れて進化する施設であってほしい。</p> <p>あわせてエコパかごしまの活動への支援もよろしくお願ひしたい。</p>	<p>エコパかごしまの皆さんは、つねに環境への問題意識を持って活動されており感謝申し上げます。環境への取り組みは喫緊の課題であり、その拠点施設としてこの環境未来館を多くの方々に活用していただき、情報交換・発信の場にしていただきたいと思います。</p> <p>環境問題は行政だけでなく、市民の皆さんのご協力もいただけて取り組む必要があり、皆さんのご提言を受けてあらゆる事業等で環境に配慮しながら今後のまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。</p>	環境局	市長回答のとおり。

## 「市長とふれあいトーク」(環境)発言に対する処理方針

日時：平成20年10月10日(金) 14:00~15:00  
場所：かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	かごしま子ども文化の里 女性	市内には各町内会くらいの範囲に公園はあるが、子ども達が木登りや穴掘りをしたり、落ち葉を集めてやきいもを作るなどの活動ができる公園が少ない。子ども達が創意工夫して自由に遊べるような公園を整備していただきたい。	公園整備は年次計画の中で各地域ごとに整備を進めているところです。子ども達が自然に慣れ親しむことのできる、また地域の皆さんが集い楽しく愉快地過ごすことのできる公園を整備していけたらと考えています。	建設局	公園は、子どもから高齢者まで多くの方々が自由に憩い、レクリエーションなどを楽しんでいただく場であります。したがって、他の利用者の方々の迷惑にならないよう、公園利用のきまりやマナーを守るなかで、自由に工夫してご利用いただきたいと思います。
4	消費生活研究会 女性	環境関連施設の先進地である横浜市、川口市、宇都宮市などでは、市民が足を運びやすいイベントを開催したり、工房で指導員がおもちゃづくりを教えてくれたり、親子で参加するフリーマーケットが開催されるなど、施設を1回見て終わりにならないよう、定期的に市民が繰り返し訪れるような工夫をしている。 環境未来館でも繰り返し市民が訪れるような工夫、取り組みをお願いしたい。	本日スタートした、この環境未来館は見学するだけの施設ではなく、多くの市民の皆さんに足を運んでいただき活用、実践いただける場にしたいと考えています。開館に伴い用意している行事もありますが、これから市民の方、さらに市外の方にも多く訪れていただき、たくさんのご意見を伺いながら、一層活用していただける手法を考えていきたいと思ひます。また他都市の状況についても調べてみたいと思ひます。	環境局	市長回答のとおり。
5	市衛生組織連合会 男性	本日は、環境未来館をたっぷり2時間見学させていただいた。環境に対する問題提起はたくさんあるが、人口の増加に伴い世界の食料が足りるのかも大きな問題である。新聞報道によると県の食料自給率は85%、市の食料自給率は4%との話を聞いたが、自給率を上げるために鹿児島市はどうすればよいだろうか。	平成16年11月の旧5町との合併で、鹿児島市全体の農地や森林面積は2倍に広がりました。各地で食料の地産地消の動きが見られ、本市でも市内で作られたものを市内で食べる地産地消や遊休農地の活用などを進めていきたいと思ひます。 森林の整備と合わせて自給率の向上は、環境にも配慮したまちづくりにつながると考えています。	経済局	遊休農地については、所有者の意向を踏まえ、農業委員会をはじめ、農協、県など関係機関・団体と連携し、解消策を検討しながら、活用に努めているところです。 また、地産地消をすすめることが、食料自給率の向上にもつながることから、本市といたしましても引き続き、「市内産農産物旬のキャンペーン」や「旬の野菜クッキング教室」などを開催し促進してまいります。

## 「市長とふれあいトーク」(環境)発言に対する処理方針

日時：平成20年10月10日(金) 14:00~15:00  
場所：かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	鹿児島友の会 女性	この施設を多くの人に使ってもらいたいと思っている。環境への配慮のためには「持ちすぎない、食べ過ぎない、使いすぎない」という意識が重要だと思う。私たちは生ゴミ削減のため20~30名で段ボール堆肥づくりに取り組んでいる。多くの人が取り組めるように、段ボールや機材などを市から補助していただけないか。	ダンボールを使った生ごみ処理につきましては、今年度、109名のモニターの方々に段ボール等の材料を無料で提供し、ダンボールコンポスターによる生ごみの堆肥化を体験していただきました。 また、かごしま環境未来館のリサイクル工房において、作り方や利用方法に関する講座を開講する予定であり、広報・啓発にも努めてまいりたいと考えております。鹿児島友の会の皆さんには今後ともご協力をよろしくお願いいたします。	環境局	市長回答のとおり。
7	NPO法人「エコサポートTGAL」 男性	① 職場で環境問題に取り組むことで意識は一層高くなると考える。鹿児島市もエコアクション21に基づいて4年前から「鹿児島市環境管理事業所制度」を設けているが、認定事業所も増えてきたので、事例発表や報告といった交流会や学習会を開催し、さらなる活動の輪の拡大やレベルアップを図ってほしい。  ② また、「環境管理事業所」の審査・事業所へのサポートも重要だと思うが、さらに活動が拡大した場合の中・長期的な支援体制・財政基盤の強化を検討してほしい。	① 認定事業所数は平成20年9月末で358事業所になっています。 年々、認定事業所数は増加しているところですが、環境管理に取り組む事業所の輪をさらに広げていくために、説明会の開催など、広報・啓発に努めていきたいと思っています。 また、認定されている事業所を対象として情報交換を図るなど、事業所の環境活動の充実や意識の向上を図るための工夫にも努めていきたいと思っています。  ② 補助・支援体制については、認定事業所の皆さんが利活用しやすい制度について工夫したいと思っていますので、ご意見は関係部局に伝えます。	環境局  環境局	市長回答のとおり。  環境管理事業所認定制度の取り組みを充実させ、円滑な制度運営を行うために、どのような支援体制等が必要か検討してまいります。

## 「市長とふれあいトーク」(環境)発言に対する処理方針

日時：平成20年10月10日(金) 14:00~15:00  
場所：かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	かごしま子ども文化の里 女性	子どもたちは自然の中での体験を通して学ぶことが大事だと思う。子どもの教育には環境未来館と学校、子どもと市民グループなどが連携していっしょに取り組むことが重要だと考える。環境教育は子どもの感性を豊かにするもので、環境というひとつの枠だけではなく芸術にふれさせるなど他の分野とのより一層の協力によって取り組みを深めたいと思う。	子ども達には明るく伸びやかな環境の中で学んでほしいと思いますし、この環境未来館を、多くの児童生徒の皆さんに活用していただきたいとします。学校・行政・市民グループの皆さん方との分担と協力で子どもの育成に努めていけたらと考えています。	環境局	市長回答のとおり。
9	特定非営利活動法人「四季の会」 男性	森林整備は、CO2削減に大きな効果を有するなど環境問題における森林の位置づけは重要だと思う。こうした森林整備に取り組むNPOやボランティアの団体について市としてどのように位置づけ、援助などはどのように考えているか。	森林の持つCO2の削減効果には大きな効果があり、本市環境アドバイザーの末吉氏からも森林整備の取り組みの必要性についてご意見をいただいているところです。 合併後、森林面積が2倍に広がったこともあり、森林を活用した多くの事業に取り組むとともに、森林整備は地球温暖化防止に効果があり、自然災害の防止や第1次産業の振興にもつながることから本市としてもできるだけ力をいれて取り組みたいと思います。 その際、森林整備に取り組んでおられる団体の皆さんとの連携を進め、よりよい方策を実現したいと考えていますのでご協力をよろしくお願い申し上げます。	経済局	本市は、現在間伐等の森林整備を進めております。今後は森林整備に取り組んでおられる団体の皆さんとの連携や、方策について検討してまいりたいと考えております。

## 「市長とふれあいトーク」(環境)発言に対する処理方針

日時：平成20年10月10日(金) 14:00~15:00  
場所：かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	特定非営利活動法人「地球環境フォーラム」 女性	先日、水俣市での5泊6日の環境研修に参加してきた。環境問題に対する行政の取り組み方には素晴らしいものがあった。鹿児島市も今回、環境未来館という素晴らしい施設が整備された。今後は水俣や北九州といった九州内のほかの都市と同じように環境への取り組みを前進させていただきたいと思う。	本市も、水俣市など6市が選定された国政府公募の「環境モデル都市」に名乗りを上げましたが残念ながら落選しました。しかし、環境施策への取り組みと熱意は水俣市や北九州市と差はないと自負しています。どの自治体も環境への取り組みには力を入れている時代ですが、本市も今後、この環境未来館を拠点として環境に配慮した、他の自治体をリードするまちづくりを皆さん方と連携して一層進めていきたいと考えています。	環境局	市長回答のとおり。
11	みどりの二季会 男性	孟宗竹が里山で大繁殖している。吸水力が強いので周りの植物を枯れさせてしまう。沖永良部では集落総出で駆除に乗り出し、やっと上手く行った例があり、それぐらいの取り組みをしないと広葉樹などに覆われた里山は取り戻せないと思う。	自然環境の保全是重要であり、里山における孟宗竹の駆除は行政でも取り組むべき課題です。里山の崩壊による土砂の流出などを防ぐためにも自然環境の面に加え防災の面なども考慮に入れながらどのような整備の仕方があるのか関係部局に研究させてみたいと思います。	市民局	これまで、孟宗竹の増殖による土砂災害の危険性について相談や苦情を受けたことはありませんが、実際に現場の状況を確認したうえで、土砂災害の危険性が高いと判断される場合は、県地域振興局、市建設局及び農林水産部と対応を協議し、行政での対応が困難であれば、土地の所有者に直接対策を依頼しているところです。

## 「市長とふれあいトーク」(環境)発言に対する処理方針

日時：平成20年10月10日(金) 14:00~15:00  
場所：かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	環境パートナーシップ かごしま  男性	<p>「有機農業推進法」が一昨年12月に成立し、県でも取り組みの準備を進めているようだ。しかし、これからの農業は個々の農家がそれぞれに組み合っている時代ではないのではないか。</p> <p>すでに畜産の分野は、零細の農家では採算が取れず大規模な取り組みが必要である。例えば旧頼娃町では建設会社が1万頭の豚を飼育している例がある。建設業者であっても専門知識のある業者とセットにすることで農業生産は可能である。有機農業の分野でもいわば素人といえる建設業者が50ヘクタール、100ヘクタールという広い畑で有機農業に近いことができる技術はすでに存在している。農商工連携の新しい形を作っていないと今後の農業は成り立たないのではないか。</p> <p>市として今後どのような取り組みを考えておられるか。</p>	<p>本市においても農業・畜産の担い手が少なくなっており、兼業農家が増加しています。農業振興の計画を積極的に進め、食料自給率を高めることで農業に携わる意欲をもった人の手助けができるのでは、と考えています。</p> <p>県や農協、農業に携わる人々の連携を強めながら第1次産業を振興していきたいと思います。</p>	経済局	<p>農業担い手の育成については、県や農協、農業委員会等の関係機関・団体で、さらに連携し、認定農業者や後継者の育成をはじめ、集落営農の推進など、多様な担い手の育成に取り組んでまいりたいと考えております。</p>

# 「市長とふれあいトーク」(環境)発言に対する処理方針

日時：平成20年10月10日(金) 14:00~15:00  
場所：かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
13	みどりの二 季会 女性	<p>県内に居住する30名の会員で数箇所を拠点にキャンプや子ども中心の「みどりの少年団」の交流会などの活動を行っている。市内居住者が5名以上いたので環境未来館登録団体になることができた。鹿児島市でも自然環境の保全や森や川を市民のうるおいの場として親しめる活動に取り組みたいと考えている。</p> <p>環境未来館では、子ども達にポイ捨てしない心を育てる発信地となるコーナー・企画や植物、昆虫からの恩恵、遺伝資源の大切さを知るコーナー・企画を設けてほしい。</p>	<p>この環境未来館は環境学習、環境活動の輪を広げていただく拠点施設ですので、ポイ捨て防止や植物・昆虫からの恩恵も含めたできるだけ多くの環境に関する情報を発信し、子ども達にも伝えていきたいと思えます。「ゼロ・エミッション」への取り組みについては現在、喜入地域に観光農業公園の整備の基本計画を進めています。</p> <p>観光農業公園は食物を育て、収穫し、それを調理して提供し、残ったものを肥料として使う「ゼロ・エミッション」を実践する設備・ひとつの教材として整備して市内・市外・全国の皆さんに環境の素晴らしさを伝える施設になるよう計画を進めているところです。</p>	環境局	市長回答のとおり。
14	消費生活研究会 女性	<p>消費生活研究会では「見直そう、限りあるもの」を今年度のテーマとして取り組んでいる。市内でも「食品リサイクル法」による食品関係業者のネットワークができあがりつつあるようだ。企業に対する「捨てるのはもったいない」という活動に取り組んでいただきたい。</p>	<p>この環境未来館は環境学習、環境活動の輪を広げていただく拠点施設ですので、ポイ捨て防止や植物・昆虫からの恩恵も含めたできるだけ多くの環境に関する情報を発信し、子ども達にも伝えていきたいと思えます。「ゼロ・エミッション」への取り組みについては現在、喜入地域に観光農業公園の整備の基本計画を進めています。</p> <p>観光農業公園は食物を育て、収穫し、それを調理して提供し、残ったものを肥料として使う「ゼロ・エミッション」を実践する設備・ひとつの教材として整備して市内・市外・全国の皆さんに環境の素晴らしさを伝える施設になるよう計画を進めているところです。</p>	環境局 経済局	<p>20年度に事業所ごみの適正な処理促進のため、市内の全事業所を対象とした処理状況調査を実施するとともに、「事業所ごみ処理読本」を配布し、事業所の3Rの啓発を行いました。今後も機会を捉えて啓発に取り組んでまいります。</p> <p>観光農業公園については、施設内で排出される食品残渣等を家畜の飼料や堆肥に再資源化し、それを農業生産に活用するなど資源循環型のゼロエミッションを目指す施設として整備したいと考えております。</p>